

探究カリキュラム改革で 大きく成長した生徒たち、 そして教職員。 探究の深化は何をもたらすのか



今回の交流会は、総合的な探究の時間において探究のサイクルをどう回すのか、課題設定、発表の方法、評価、教科学習との還流、キャリア教育、生徒の変容、学校の組織開発など様々な視点から、高校の探究の事例報告をもとに高校教員と大学教職員が交流し、高大連携について意見交換・情報共有を行うことが目的です。

日時

7月8日（土）14:00～16:00（受付13:45～）

会場

キャンパスプラザ京都 第5講習室、オンライン:Zoom

コーディネーター

滋野 哲秀 氏（元龍谷大学文学部 教授/元京都教育大学大学院 教授）

事例報告者

石田 憲彰 氏

（2023年3月まで京都府立峰山高等学校教諭・探究推進部長、
4月から京都府立宮津天橋高等学校 宮津学舎 教諭）

定員

30名（対面:15名 オンライン:15名）

対象

高校・大学教職員 ※京都府外の方もご参加いただけます。

申込締切

2023年6月29日（木）



お問い合わせ先 京都高大連携研究協議会 事務局

（大学コンソーシアム京都 教育開発事業部 高大連携事業担当）

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都（月曜休館）

TEL：075-353-9153 E-mail：kodai@consortium.or.jp

<https://www.consortium.or.jp/kodai/59018>